

JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 – CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	I		II		IIIa		IIIb		IVa		IVb		V		後遺症"d"の補足説明(例)
			Gradingの原則	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要さないもの。ただし、制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含まない(これらが必要と判断されたり行われたりしてもGrade Iとする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放はGrade Iとする。	制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬以外の薬物療法を要する。輸血および中心静脈栄養を要する場合を含む。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔下での治療)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、単一の臓器不全(透析を含む)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、多臓器不全。	患者の死亡	退院時にも合併症が持続していた場合、接尾辞"d"("disability")を該当する合併症のGradeに付加する(II-d, IIIa-dなど)。想定される退院時の状況を「例」として示した。						
AE term	CTCAE		1	2	3	4	5										
			Gradingの原則	軽症:症状がない、または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡									
神経	脳卒中	Clavien	脳卒中	臨床所見のみで治療を要さない	抗凝固薬などの内科的治療を要する	全身麻酔を要さないIVRIによる治療を要する(脳血管内治療など)	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ、クリッピング、脳血管バイパス術、頸動脈内膜	準集中治療室/ICU管理を要する	準集中治療室/ICU管理を要し、呼吸不全を伴う	死亡	片麻痺が持続						
		CTCAE	脳卒中	症状がない、または軽度の神経障害がある;画像所見のみ	中等度の神経障害がある	高度の神経障害がある	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡									
神経	反回神経麻痺	Clavien	反回神経麻痺	臨床所見または検査のみで治療を要さない	誤嚥により抗菌薬などの内科的治療を要する	摂食が不可能なほどの誤嚥があり、局所麻酔下での治療を要する(声帯注射、気管穿刺など)	全身麻酔下での治療を要する(鎮静下での気管切開を含む)	人工呼吸管理を要する	敗血症;複数の臓器不全	死亡	嘔声、会話困難、筆談を要する、気管切開のまま退院						
		CTCAE	反回神経麻痺	症状がない;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等度の症状がある	高度の症状がある;内科的治療を要する(例:甲状軟骨形成術、声帯注射)	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡									
神経	上腕知覚異常	Clavien	上腕知覚異常	臨床所見のみで治療を要さない	内科的治療を要する	神経ブロックなどの外科的治療を要する	—	—	—	—	—	上腕部の知覚異常が持続					
		CTCAE	末梢性感覚ニューロパチー	症状がない;深部腱反射の低下または知覚異常	中等度の症状がある;身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の症状がある;身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす;緊急処置を要する	—									
神経	切除部位の感覚異常(Phantom pain)	Clavien	切除部位の感覚異常(Phantom pain)	臨床所見のみで治療を要さない	内科的治療を要する	神経ブロックなどの外科的治療を要する	—	—	—	—	幻肢痛が持続						
		CTCAE	幻痛	軽度の疼痛	中等度の疼痛;身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の症状がある;身の回りの日常生活動作の制限	—	—									
心臓	心筋梗塞	Clavien	虚血性心疾患	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗凝固薬などの内科的治療を要する	心臓カテーテル治療を要する	全身麻酔下での治療を要する(冠動脈バイパス手術)	低心拍症候群を伴う心不全があり、準集中治療室/ICU管理を要する	低心拍症候群を伴う心不全と腎不全があり、準集中治療室/ICU管理を要する	死亡	心筋梗塞後の心不全が持続						
		CTCAE	心筋梗塞	—	症状がなく、心筋酵素のわずかな異常があるが、心電図上の虚血性変化はない	高度の症状がある;心筋酵素の異常がある;循環動態は安定;心電図変化は梗塞を示す	生命を脅かす;緊急処置を要する(例:持続的静注療法や機械的な循環動態の補助)	死亡									
心臓	心嚢液貯留	Clavien	心嚢液貯留	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する;既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する(開窓術)	心タンポナーデにより、準集中治療室/ICU管理を要する	心タンポナーデと腎不全により、準集中治療室/ICU管理を要する	死亡	—						
		CTCAE	心嚢液貯留	—	症状がない少量から中等量の心嚢液貯留	生理機能に影響する心嚢液貯留	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡									
心臓	除脈性不整脈	Clavien	除脈性不整脈	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	硫酸アトロピン、β刺激薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(ペースメーカー植え込みなど)	—	低心拍症候群を伴う心不全があり、準集中治療室/ICU管理を要する	低心拍症候群を伴う心不全と腎不全があり、準集中治療室/ICU管理を要する	死亡	—						
		CTCAE	洞性除脈	症状がなく、治療を要さない	治療を要するが緊急性はない	重症で医学的に重大;内科的治療を要する	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡									
心臓	上室性不整脈	Clavien	上室性不整脈	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗不整脈薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(カテーテルアブレーション、同期カルディオバージョンなど)	—	低心拍症候群を伴う心不全があり、準集中治療室/ICU管理を要する	低心拍症候群を伴う心不全と腎不全があり、準集中治療室/ICU管理を要する	死亡	—						
		CTCAE	上室性頻脈	症状がなく、治療を要さない	内科的治療を要するが緊急性はない	内科的治療を要する	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡									

JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 – CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	I		II		IIIa		IIIb		IVa		IVb		V		後遺症"d"の補足説明(例)	
			Gradingの原則	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要さないもの。ただし、制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含まない(これらが必要と判断されたり行われたりしてもGrade Iとする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放はGrade Iとする。	制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬以外の薬物療法を要する。輸血および中心静脈栄養を要する場合を含む。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔下での治療)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、単一の臓器不全(透析を含む)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、多臓器不全。	患者の死亡	退院時にも合併症が持続していた場合、接尾辞"d"("disability")を該当する合併症のGradeに付加する(II-d, IIIa-dなど)。想定される退院時の状況を「例」として示した。							
AE term	CTCAE		1	2	3	4	5											
			Gradingの原則	軽症:症状がない、または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす;緊急処置を要する											
心臓	心室性不整脈	Clavien	心室性不整脈	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗不整脈薬などの内科的治療を要する	—	低心拍症候群を伴う心不全があり、準集中治療室/ICU管理を要する	低心拍症候群を伴う心不全と腎不全があり、準集中治療室/ICU管理を要する	死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	
		CTCAE	心室性不整脈	症状がなく、治療を要さない	内科的治療を要するが緊急性はない	内科的治療を要する	生命を脅かす;循環動態に影響がある;緊急処置を要する	死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
呼吸器	無気肺, 喀痰排出障害	Clavien	無気肺, 喀痰排出障害	臨床所見または検査所見のみで、ネブライザーや去痰薬や肺理学療法(例:体位ドレナージなど)以外の治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	気管支鏡による吸引;全身麻酔下以外の外科的治療を要する(例:気管穿刺など)	全身麻酔下での治療を要する(鎮静下での気管切開を含む)	人工呼吸管理を要する	敗血症;複数の臓器不全	死亡	—	—	—	—	—	—	気管切開のまま退院	
		CTCAE	無気肺	症状がない;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	症状がある(例:呼吸困難、咳);内科的治療を要する(例:肺理学療法、吸引);気管支鏡による吸引	酸素投与を要する;入院または待機的な外科的処置を要する(例:ステント、レーザー)	生命を脅かす呼吸障害/循環動態の悪化;挿管/緊急処置を要する	死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
呼吸器	気管瘻, 気管支瘻	Clavien	気管瘻, 気管支瘻	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	—	局所麻酔下での治療を要する	全身麻酔下での治療を要する	人工呼吸管理を要する	敗血症;複数の臓器不全	死亡	—	—	—	—	—	—	チューブドレナージ;開窓のまま退院	
		CTCAE	気管瘻/気管支瘻	症状がない;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	【気管瘻】 症状がある;胸腔ドレナージまたは内科的治療を要する;身の回りの日常生活動作の制限 【気管支瘻】 症状がある;胸腔ドレナージ/内科的治療を要する;身の回りの日常生活動作の制限	【気管瘻】 【気管支瘻】 高度の症状がある;身の回りの日常生活動作の制限;内視鏡的処置または外科的処置を要する(例:ステント/一次縫合)	【気管瘻】 生命を脅かす;緊急の外科的処置を要する(例:胸郭形成術、長期開放ドレナージ、または複数箇所の開胸術) 【気管支瘻】 生命を脅かす;胸郭形成術、持続開放ドレナージ、複数箇所の開胸を伴う緊急の外科的処置を要する	死亡	—	—	—	—	—	—	—	—		
呼吸器	肺瘻	Clavien	肺瘻	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない(既存のドレナージによるドレナージのみ)	—	局所麻酔下での治療を要する(胸腔ドレナージ、癒着薬の胸腔内投与など);既存のドレナージ入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する(肺瘻閉鎖術、癒着術)	人工呼吸管理を要する	敗血症;複数の臓器不全	死亡	—	—	—	—	—	—	チューブドレナージ;開窓のまま退院	
		CTCAE	肺瘻	症状がない;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	【肺瘻】 症状がある;胸腔ドレナージまたは内科的治療を要する;身の回りの日常生活動作の制限	【肺瘻】 身の回りの日常生活動作の制限;内視鏡的ステント留置術または外科的処置を要する	【肺瘻】 生命を脅かす;緊急の外科的処置を要する	死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
呼吸器	乳び胸	Clavien	乳び胸	ドレナージ排液や胸水穿刺液の乳び所見のみで治療を要さない(既存のドレナージによるドレナージのみ)	脂肪制限食または経静脈的栄養管理を要する	画像ガイド下でのドレナージ留置・穿刺を要する;既存のドレナージ入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する(胸管結紮術など)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	死亡	呼吸困難の持続;低栄養
		CTCAE	乳び胸症	症状がない;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	症状がある;胸腔穿刺または胸腔ドレナージを要する	高度の症状がある;待機的な外科的処置を要する	生命を脅かす呼吸障害/循環動態の悪化;挿管/緊急処置を要する	死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 – CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	I		II		IIIa		IIIb		IVa		IVb		V		後遺症"d"の補足説明(例)	
			Gradingの原則	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要さないもの。ただし、制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含まない(これらが必要と判断されたり行われたりしてもGradeとす)。また、ベッドサイドでの創感染の開放はGradeとする。	制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬以外の薬物療法を要する。輸血および中心静脈栄養を要する場合を含む。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔下での治療)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、単一の臓器不全(透析を含む)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、多臓器不全。	患者の死亡	退院時にも合併症が持続していた場合、接尾辞"d"("disability")を該当する合併症のGradeに付加する(II-d, IIIa-dなど)。想定される退院時の状況を「例」として示した。							
	AE term	CTCAE	1	2	3	4	5											
			Gradingの原則	軽症;症状がない、または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡										
呼吸器	胸水	Clavien	胸水	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	利尿薬などの内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する;既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する	人工呼吸管理を要する	複数の臓器不全	死亡	呼吸困難の持続							
		CTCAE	胸水	症状がない;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	症状がある;治療を要する(例:利尿剤/胸腔穿刺を要する)	症状あり呼吸障害と低酸素血症を伴う;外科的処置を要する(胸腔ドレナージ/胸膜癒着術)	生命を脅かす呼吸障害/循環動態の悪化;挿管/緊急処置を要する	死亡										
呼吸器	肺捻転	Clavien	肺捻転	-	-	-	全身麻酔下での治療を要する(外科的整復、肺葉切除など)	人工呼吸管理を要する	敗血症;複数の臓器不全	死亡	-							
		CTCAE	呼吸器、胸郭および縦隔障害、その他(肺捻転)	症状がない、または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡										
胃腸	腹水	Clavien	腹水	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	利尿薬などの内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する;既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する	-	-	死亡	腹満感の持続							
		CTCAE	腹水	症状がない;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	症状がある;内科的治療を要する	高度の症状がある;侵襲的処置を要する	生命を脅かす;緊急の外科的処置を要する	死亡										
胃腸	下痢 (小腸人工肛門のある患者)	Clavien	下痢	2,000 mL/日以上の上の腸液排出を認めるが治療を要さない	2,000 mL/日以上の上の腸液排出に脱水または電解質異常を伴い静脈内輸液を要する	-	-	-	-	死亡	高度な腸液排出の持続							
		CTCAE	下痢	ベースラインと比べて<4回/日の排便回数増加;ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が軽度増加	ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加;ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が中等度増加	ベースラインと比べて7回/日以上の上の排便回数増加、便失禁;入院を要する;ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が高度増加;身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす;緊急の外科的処置を要する	死亡										
胃腸	嚥下障害	Clavien	嚥下障害	臨床所見のみで治療を要さない	経腸的/経静脈的栄養管理(TPNを含む)を要する	局所麻酔下での治療を要する(気管穿刺や内視鏡下での胃瘻造設など)	全身麻酔下での治療を要する	-	-	死亡	胃瘻造設							
		CTCAE	嚥下障害	症状があるが、通常食の摂取が可能	症状があり、摂食/嚥下に影響がある	摂食/嚥下に重大な影響;経管栄養/TPN/入院を要する	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡										
胃腸	腸管瘻	Clavien	腸管瘻	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	抗菌薬などの内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する;既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔での治療を要する(ストマ造設)	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	腸管皮膚瘻の持続							
		CTCAE	食道瘻/胃瘻/胃腸管瘻/空腸瘻/回腸瘻/結腸瘻/直腸瘻	【食道瘻】【胃瘻】【胃腸管瘻】【空腸瘻】【結腸瘻】【直腸瘻】 症状がない;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	【食道瘻】【胃瘻】【胃腸管瘻】【空腸瘻】【回腸瘻】【結腸瘻】【直腸瘻】 症状がある;消化管機能に変化がある	【食道瘻】 消化管機能に高度の変化がある;経管栄養または入院を要する;待機的な外科的処置を要する 【胃瘻】 消化管機能に高度の変化がある;腸管の休息/経管栄養/TPN/入院を要する;待機的な外科的処置を要する 【胃腸管瘻】 消化管機能に高度の変化がある;経管栄養/TPN/入院を要する 【空腸瘻】【回腸瘻】【直腸瘻】 消化管機能に高度の変化がある;TPNまたは入院を要する;待機的な外科的処置を要する 【結腸瘻】 消化管機能に高度の変化がある;腸管の安静/TPN/入院を要する;待機的な外科的処置を要する	【食道瘻】【空腸瘻】【回腸瘻】【結腸瘻】【直腸瘻】 生命を脅かす;緊急処置を要する 【胃瘻】【胃腸管瘻】 生命を脅かす;緊急の外科的処置を要する	死亡										

JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 – CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	Gradingの原則	I	II	IIla	IIlb	IVa	IVb	V	後遺症“d”の補足説明(例)
				1	2	3	4	5			
	AE term	CTCAE	Gradingの原則	軽症; 症状がない, または軽度の症状がある; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	中等症; 最小限/局所的/非侵襲的治療を要する; 年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが, ただちに生命を脅かすものではない; 入院または入院期間の延長を要する; 活動不能/動作不能; 身の回りの日常生活動作の制限		生命を脅かす; 緊急処置を要する		死亡	
胃腸	腸管虚血・壊死	Clavien	腸管虚血・壊死	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	IVRIによる治療/内視鏡的治療/外科的治療を要する	全身麻酔下での治療を要する(腸管切除など)	人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	在宅での経腸的/経静脈的栄養管理
		CTCAE	食道壊死/胃壊死/直腸壊死	—	—	【食道壊死】【胃壊死】消化管から十分な栄養を摂取できない; IVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する 【直腸壊死】経管栄養またはTPNを要する; IVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する	—	生命を脅かす; 緊急の外科的処置を要する	—	死亡	
胃腸	胃管壊死	Clavien	胃管壊死	経口造影剤検査やドレーン造影でわずかな瘻孔を認める(既存のドレーンによるドレナージのみ)	抗菌薬などの内科的治療, 経腸的/経静脈的栄養管理を要する	IVRIによる治療/内視鏡的治療/待機的な外科的治療を要する; 既存のドレーンの入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する	—	—	死亡	
		CTCAE	食道壊死/胃壊死/直腸壊死	—	—	【食道壊死】【胃壊死】消化管から十分な栄養を摂取できない; IVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する 【直腸壊死】経管栄養またはTPNを要する; IVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する	—	生命を脅かす; 緊急の外科的処置を要する	—	死亡	食道壁/胃壁/直腸壁に生じた壊死
胃腸	逆流性食道炎	Clavien	逆流性食道炎	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	PPIや酵解素阻害薬などの内科的治療や経腸的/経静脈的栄養管理を要する(TPNを含む)	—	全身麻酔下での治療を要する	—	—	死亡	胸焼けの持続
		CTCAE	胃食道逆流性疾患	軽度の症状がある; 治療を要さない	中等度の症状がある; 内科的治療を要する	高度の症状がある; 外科的処置を要する	—	—	—	—	—
胃腸	麻痺性イレウス	Clavien	麻痺性イレウス	臨床所見または検査所見のみで, 緩下薬以外の内科的治療や経静脈的栄養管理を要さない	緩下薬以外の内科的治療やNGチューブの留置; 経静脈的栄養管理を要する(TPNを含む)	イレウス管の留置	全身麻酔下でのイレウス解除(腸管切除の有無は問わず)	腸管の広範壊死; 人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	在宅での経静脈的栄養管理
		CTCAE	イレウス	—	症状がある; 消化管機能に変化がある; 消化管の安静を要する	消化管機能に高度の変化がある; TPNを要する	—	—	生命を脅かす; 緊急処置を要する	—	死亡
胃腸	胆汁瘻	Clavien	胆汁瘻	術後3日目以降のドレーン排液アミラーゼ値が施設基準値上限の3倍以上だが, 治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	抗菌薬などの内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する; 既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する	人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	CTで降仮性嚢胞の残存あり, 時に発熱や腹痛
		CTCAE	胆汁瘻	症状がない; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	症状がある; 消化管機能に変化がある	消化管機能に高度の変化がある; 経管栄養/TPN/入院を要する; 待機的な外科的処置を要する	—	生命を脅かす; 緊急の外科的処置を要する	—	死亡	
胃腸	閉塞性イレウス	Clavien	閉塞性イレウス	臨床所見または検査所見のみで, 緩下薬以外の内科的治療や経静脈的栄養管理を要さない	緩下薬以外の内科的治療やNGチューブの留置; 経静脈的栄養管理を要する(TPNを含む)	イレウス管の留置	全身麻酔下でのイレウス解除(腸管切除の有無は問わず)	腸管の広範壊死; 人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	在宅での経静脈的栄養管理
		CTCAE	小腸閉塞	症状がない; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	症状がある; 消化管機能に変化がある; 身の回り以外の日常生活動作の制限	入院を要する; 待機的な外科的処置を要する; 身の回りの日常生活動作の制限; 活動不能/動作不能	—	生命を脅かす; 緊急の外科的処置を要する	—	死亡	

JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 – CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	I		II		IIIa		IIIb		IVa		IVb		V		後遺症"d"の補足説明(例)	
			Gradingの原則	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要さないもの。ただし、制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含まない(これらが必要と判断されたり行われたりしてもGrade Iとする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放はGrade Iとする。	制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬以外の薬物療法を要する。輸血および中心静脈栄養を要する場合を含む。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔下での治療)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、単一の臓器不全(透析を含む)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、多臓器不全。	患者の死亡	退院時にも合併症が持続していた場合、接尾辞"d"("disability")を該当する合併症のGradeに付加する(II-d, IIIa-dなど)。想定される退院時の状況を「例」として示した。							
AE term	CTCAE		1	2	3	4	5											
胃腸	胃排出遅延	Clavien	胃腸所見または検査所見のみで治療を要さない	軽症; 症状がない、または軽度の症状がある; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	中等症; 最小限/局所的/非侵襲的治療を要する; 年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない; 入院または入院期間の延長を要する; 活動不能/動作不能; 身の回りの日常生活動作の制限	—	—	全身麻酔下での治療を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		CTCAE	胃腸障害、その他(胃排出遅延)	症状がない、または軽度の症状がある; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	中等症; 最小限/局所的/非侵襲的治療を要する; 年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない; 入院または入院期間の延長を要する; 活動不能/動作不能; 身の回りの日常生活動作の制限	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
胃腸	ダンピング症候群	Clavien	ダンピング症候群	臨床所見のみで治療を要さない	内科的治療を要する	—	—	—	全身麻酔下での治療を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		CTCAE	胃腸障害、その他(ダンピング症候群)	症状がない、または軽度の症状がある; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	中等症; 最小限/局所的/非侵襲的治療を要する; 年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない; 入院または入院期間の延長を要する; 活動不能/動作不能; 身の回りの日常生活動作の制限	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
肝胆道	胆汁瘻	Clavien	胆汁瘻	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	抗菌薬などの内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する; 既存のドレーン入れ替えも含む	—	—	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		CTCAE	胆管瘻	—	症状があるが治療を要さない	消化管機能に高度の変化がある; TPNを要する; 内視鏡的処置/待機的な外科的処置を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
肝胆道	胆嚢炎	Clavien	胆嚢炎	臨床所見または検査所見のみで、利胆薬以外の内科的治療を要さない	利胆薬以外の内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(PTGBDなど)	—	—	全身麻酔下での治療を要する(胆嚢摘出術)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		CTCAE	胆嚢炎	—	症状がある; 内科的治療を要する	高度の症状がある; IVRIによる処置/内視鏡的処置/待機的な外科的処置を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷害処置合併症	消化管縫合不全	Clavien	消化管縫合不全	経口造影剤検査やドレーン造影でわずかな瘻孔を認めるのみ(既存のドレーンによるドレナージのみ)	抗菌薬などの内科的治療や経腸的/経静脈的栄養管理を要する(TPNを含む)	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する; 開創によるドレナージや既存のドレーン入れ替えも含む	—	—	全身麻酔下での治療を要する(縫合、再吻合、バイパス、ドレナージ、ストマ造設など)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		CTCAE	胃腸吻合部漏出	症状がない検査所見のみ; 治療を要さない	症状がある; 内科的治療を要する	高度の症状がある; IVRIによる処置/内視鏡的処置/待機的な外科的処置を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷害処置合併症	尿管損傷	Clavien	尿管損傷	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	経尿道的尿管ステント挿入	—	—	全身麻酔下での治療を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		CTCAE	術中尿路損傷	損傷臓器/構造の修復を要するが切除を要さない	損傷臓器/構造の部分切除を要する	損傷臓器/構造の完全切除または再建術を要する; 活動不能/動作不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷害処置合併症	尿道損傷	Clavien	尿道損傷	尿路カテーテル留置を要する	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所または腰椎麻酔下での治療を要する(経皮的膀胱瘻造設など)	—	—	全身麻酔下での治療を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		CTCAE	術中尿路損傷	損傷臓器/構造の修復を要するが切除を要さない	損傷臓器/構造の部分切除を要する	損傷臓器/構造の完全切除または再建術を要する; 活動不能/動作不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 – CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	I		II		IIIa		IIIb		IVa		IVb		V		後遺症“d”の補足説明(例)
			Gradingの原則	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要さないもの。ただし、制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含まれない(これらが必要と判断されたり行われたりしていてもGrade Iとする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放はGrade Iとする。	制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬以外の薬物療法を要する。輸血および中心静脈栄養を要する場合を含む。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔下での治療)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、単一の臓器不全(透析を含む)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、多臓器不全。	患者の死亡	退院時にも合併症が持続していた場合、接尾辞“d”(“disability”)を該当する合併症のGradeに付加する(II-d, IIIa-dなど)。想定される退院時の状況を「例」として示した。						
	<b>AE term</b>	<b>CTCAE</b>	1	2	3	4	5										
			Gradingの原則	軽症:症状がない、または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡									
傷害処置合併症	<b>術後出血</b>	<b>Clavien</b>	術後出血	圧迫のみでコントロール可能	輸血または内科的治療を要する	局所麻酔下での外科的止血術または内視鏡やIVRIによる止血術を要する	準集中治療室/ICU管理を要する単一の臓器不全	準集中治療室/ICU管理を要する多臓器不全	死亡	貧血症状の持続							
		<b>CTCAE</b>	術後出血	臨床所見で見られる軽微な出血;治療を要さない	中等度の出血;IVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する	プロトコールに記載された予期されるレベルを超えた $\geq 2$ 単位(小児では10 cc/kg)のpRBC輸血を要する;緊急のIVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡									
傷害処置合併症	<b>Seroma (漿液貯留)</b>	<b>Clavien</b>	Seroma (漿液貯留)	ベッドサイドでの穿刺処置のみ(既存のドレーンによるドレナージのみ)	—	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する;既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	創部からの浸出液の漏出。時に発熱や感染、ドレナージチューブ留置のまま退院など						
		<b>CTCAE</b>	漿液腫	症状がない;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	症状がある;吸引を要する	症状がある;待機的なIVRIによる処置/外科的処置を要する	—	—	—	—	—						
傷害処置合併症	<b>子宮腔吻合部漏出</b>	<b>Clavien</b>	子宮腔吻合部漏出	臨床所見または内診所見のみで治療を要さない。	抗菌薬などの内科的治療を要する	—	全身麻酔下での治療を要する(再縫合)	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	子宮腔吻合部(異なる2つの解剖学的構造の外科的接合)の縫合不全によるリークの継続						
		<b>CTCAE</b>	子宮吻合部漏出/腔吻合部漏出	症状がない検査所見のみ;治療を要さない	症状がある;内科的治療を要する	高度の症状がある;IVRIによる処置/内視鏡的処置/待機的外科的処置を要する	生命を脅かす;緊急的外科的処置を要する	死亡									
傷害処置合併症	<b>腹壁瘻ヘルニア</b>	<b>Clavien</b>	腹壁瘻ヘルニア	臨床所見または検査所見のみで、ヘルニアバンド着用やNSAIDs以外の治療を要さない	ヘルニアバンド着用やNSAIDs以外の内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する	全身麻酔下での治療を要する(メッシュ、筋膜再縫合)	腸管の広範壊死;人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	腹圧時に腸管脱出						
		<b>CTCAE</b>	創合併症	浅層筋膜を超えない深さの、創長の $\leq 25\%$ の表層性創離開	創長の $> 25\%$ の創離開;局所的処置を要する	絞扼所見のない、症状を伴うヘルニア;筋膜離開/裂開;外科的な創の縫合閉鎖や修復を要する	絞扼の所見があり、症状を伴うヘルニア;内臓露出を伴う筋膜離開;皮弁による大規模な再建、移植、切除、切断術を要する	死亡									
傷害処置合併症	<b>創し開</b>	<b>Clavien</b>	創し開	臨床所見のみで、創洗浄以外の治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(再縫合など)	全身麻酔下での治療を要する(再縫合など)	腸管の広範壊死;人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	創が大きく離開したまま退院						
		<b>CTCAE</b>	創し開	浅層筋膜を超えない深さの、創長の $\leq 25\%$ の表層性創離開	創長の $> 25\%$ の創離開;局所的処置を要する;絞扼の所見のないヘルニアで症状の有無は問わない	内臓露出を伴わない筋膜離開/裂開;外科的な創の縫合閉鎖や修復を要する	生命を脅かす;絞扼の所見があり、症状を伴うヘルニア;内臓露出を伴う筋膜離開;皮弁による大規模な再建、移植、切除、切断術を要する	死亡									
傷害処置合併症	<b>消化管吻合部狭窄</b>	<b>Clavien</b>	消化管吻合部狭窄	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	経腸的/経静脈的栄養管理を要する(TPNを含む)	バルーン拡張、ステント留置;磁石法	全身麻酔下での治療を要する(再吻合、バイパスなど)	—	—	死亡	外来での頻回の内視鏡的拡張術						
		<b>CTCAE</b>	傷害、中毒および処置合併症、その他(吻合部狭窄)	症状がない、または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡									
感染/寄生虫症	<b>腹腔内膿瘍</b>	<b>Clavien</b>	腹腔内膿瘍	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	抗菌薬などの内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する;既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ)	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	CTで膿瘍の残存あり、時に発熱や腹痛						
		<b>CTCAE</b>	腹部感染	—	—	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する;IVRIによる処置または外科的処置を要する	生命を脅かす;緊急処置を要する	死亡									

JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 - CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	Gradingの原則		I	II	IIla	IIlb	IVa	IVb	V	後遺症"d"の補足説明(例)
			1	2	3	4	5					
	AE term	CTCAE	Gradingの原則	軽症:症状がない,または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限		生命を脅かす;緊急処置を要する		死亡		
感染/寄生虫症	骨盤内膿瘍	Clavien	骨盤内膿瘍	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	抗菌薬などの内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する;既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ)	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	CTで膿瘍の残存あり,時に発熱や腹痛	
		CTCAE	骨盤内感染	—	—	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する;IVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する		生命を脅かす;緊急処置を要する		死亡		
感染/寄生虫症	肺炎	Clavien	肺炎	臨床所見または検査所見のみで,ネブライザーや去痰薬や肺理学療法(例:体位ドレナージなど)以外の治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	気管支鏡による吸引や気管穿刺	全身麻酔・鎮静下での気管切開または人工呼吸管理	人工呼吸管理を要する	敗血症;複数の臓器不全	死亡	呼吸困難の持続や時に発熱	
		CTCAE	肺感染	—	中等度の症状がある;内服治療を要する(例:抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬)	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する;IVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する		生命を脅かす;緊急処置を要する		死亡		
感染/寄生虫症	縦隔炎	Clavien	縦隔炎	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	抗菌薬などの内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する;既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ)	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	CTで膿瘍の残存あり,時に発熱や腹痛	
		CTCAE	縦隔感染	—	—	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する;IVRIによる処置または外科的処置を要する		生命を脅かす;緊急処置を要する		死亡		
感染/寄生虫症	膿胸	Clavien	膿胸	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	抗菌薬などの内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する;既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ)	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	CTで膿瘍の残存あり,またはチューブドレナージ,開窓のまま退	
		CTCAE	胸膜感染	—	限局性;局所的処置を要する(例:外用の抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬)	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する;IVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する		生命を脅かす;緊急処置を要する		死亡		
感染/寄生虫症	下肢リンパ管炎(リンパ腺感染)	Clavien	下肢リンパ管炎(リンパ腺感染)	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(リンパ管吻合術)	全身麻酔下での治療を要する(リンパ管吻合術)	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	—	浮腫の持続	
		CTCAE	リンパ腺感染	—	限局性;局所的処置を要する(例:外用の抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬)	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する;IVRIによる処置または外科的処置を要する		生命を脅かす;緊急処置を要する		死亡		
感染/寄生虫症	感染性リンパのう胞(後腹膜膿瘍)	Clavien	感染性リンパのう胞(後腹膜膿瘍)	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下もしくは無麻酔でのドレナージを要する	全身麻酔下での治療を要する(閉鎖ドレナージ)	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	画像検査で膿瘍の遺残あり;時に発熱や腹痛	
		CTCAE	感染症および寄生虫症,その他(後腹膜膿瘍)	症状がない,または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限		生命を脅かす;緊急処置を要する				
感染/寄生虫症	感染性子宮頸管炎	Clavien	感染性子宮頸管炎	臨床所見または内診所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下もしくは無麻酔でのドレナージを要する	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ,子宮摘出)	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	感染による帯下の持続	
		CTCAE	感染性子宮頸管炎	—	限局性;局所的処置を要する(例:局所の抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬)	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する;IVRIによる処置または外科的処置を要する		生命を脅かす;緊急処置を要する		死亡		
感染/寄生虫症	子宮感染	Clavien	子宮感染	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下もしくは無麻酔での頭管ブジー,ドレナージを要する	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ,子宮摘出)	人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症;複数の臓器不全	死亡	画像検査で膿瘍の遺残あり;時に発熱や腹痛	
		CTCAE	子宮感染	—	中等度の症状がある;内服治療を要する(例:抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬)	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する;IVRIによる処置または外科的処置を要する		生命を脅かす;緊急処置を要する		死亡		

JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 – CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	Gradingの原則		I	II	IIla	IIlb	IVa	IVb	V	後遺症"d"の補足説明(例)
			1	2	3	4	5					
	AE term	CTCAE	Gradingの原則		1 軽症; 症状がない, または軽度の症状がある; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	2 中等症; 最小限/局所的/非侵襲的治療を要する; 年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	3 重症または医学的に重大であるが, ただちに生命を脅かすものではない; 入院または入院期間の延長を要する; 活動不能/動作不能; 身の回りの日常生活動作の制限	4 生命を脅かす; 緊急処置を要する	5 死亡			
感染/寄生虫症	卵巣感染	Clavien	卵巣感染	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での穿刺ドレナージを要する	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ, 卵巣摘出)	人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	画像検査で膿瘍の遺残あり; 時に発熱や腹痛	
		CTCAE	卵巣感染	—	限局性; 局所的処置を要する(例: 外用の抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬)	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する; IVRIによる処置または外科的処置を要する		生命を脅かす; 緊急処置を要する		死亡		
感染/寄生虫症	外陰部感染	Clavien	外陰部感染	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での穿刺ドレナージを要する	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ, 皮弁形成, 筋皮弁形成)	人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	画像検査で膿瘍の遺残あり; 時に発熱や腹痛	
		CTCAE	外陰部感染	限局性, 局所的処置を要する	内服治療を要する(例: 抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬)	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する; IVRIによる処置または外科的処置を要する		生命を脅かす; 緊急処置を要する		死亡		
感染/寄生虫症	創感染	Clavien	創感染	臨床所見または検査所見のみで, ベッドサイドでの創開放や創洗浄以外の治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(ドレナージなど)	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ, 再縫合など)	人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	外来での洗浄継続	
		CTCAE	創傷感染	—	限局性; 局所的処置を要する(例: 外用の抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬)	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する; IVRIによる処置または外科的処置を要する		生命を脅かす; 緊急処置を要する		死亡		
感染/寄生虫症	インプラント感染	Clavien	インプラント感染	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(切開ドレナージやインプラント除去など)	全身麻酔下での治療を要する(インプラント除去)	人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	ドレナージチューブ留置のまま退院; 感染が持続など	
		CTCAE	医療機器関連感染	—	—	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する; IVRIによる処置または外科的処置を要する		生命を脅かす; 緊急処置を要する		死亡		
腎/尿路	膀胱損傷	Clavien	膀胱損傷	尿路カテーテル留置を要する	抗菌薬などの内科的治療を要する	—	全身麻酔下での治療を要する	人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	尿路カテーテル留置のまま退院	
		CTCAE	膀胱穿孔	—	カテーテル留置を要する腹腔外での穿孔	腹腔内への穿孔; 待機的なIVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する		生命を脅かす; 臓器不全; 緊急の外科的処置を要する		死亡		
腎/尿路	尿失禁	Clavien	尿失禁	導尿または尿路カテーテル留置を要する	抗コリン薬などの内科的治療を要する	局所または腰椎麻酔下での治療を要する(クランプ, コラーゲン注入など)	全身麻酔下での治療を要する(人工括約筋手術など)	急性腎不全; 人工透析	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	在宅での自己導尿/介助導尿が必要な状態が持続; 尿路カテーテル留置のまま退院	
		CTCAE	尿失禁	偶発的(例: 咳, くしゃみなどに伴う), パッドを要さない	自然尿失禁; パッドを要する; 身の回りの日常生活動作の制限	治療を要する(例: クランプ, コラーゲン注入); 外科的治療を要する; 身の回りの日常生活動作の制限		-				
腎/尿路	残尿, 尿閉	Clavien	残尿, 尿閉	導尿または尿路カテーテル留置を要する	コリン作動薬などの内科的治療を要する	局所または腰椎麻酔下での治療を要する(内視鏡的治療や尿道拡張術など)	全身麻酔下での治療を要する(瘻孔閉鎖術など)	急性腎不全; 人工透析	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	在宅での自己導尿/介助導尿が必要な状態が持続; 尿路カテーテル留置のまま退院	
		CTCAE	尿閉	尿路カテーテル/恥骨上カテーテル/間欠的カテーテルの留置を要しない; 多少の残尿があるが排尿できる	尿路カテーテル/恥骨上カテーテル/間欠的カテーテルの留置を要する; 薬物治療を要する	待機的な外科的処置/IVRIによる処置を要する; 罹患腎の腎機能または腎体積の大幅な低下		生命を脅かす; 臓器不全; 緊急の外科的処置を要する		死亡		
生殖器/乳房	性交困難	Clavien	性交困難	膣挿入時の不快感を認めるが, 治療を要さない	エストロゲンの投与を要する	局所麻酔下での治療を要する	全身麻酔下での治療を要する	—	—	—	—	痛みを伴う性交/性交困難が持続
		CTCAE	性交困難	膣挿入時の軽度の不快感/疼痛; 膣潤滑剤/エストロゲンの使用により軽快する不快感	膣挿入時の中等度の不快感/疼痛; 膣潤滑剤/エストロゲンの使用により一部軽減する不快感または疼痛	膣挿入時の高度の不快感/疼痛; 膣潤滑剤/エストロゲンの使用により軽減されない不快感または疼痛		—				



JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 – CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	I		II		IIIa		IIIb		IVa		IVb		V		後遺症"d"の補足説明(例)	
			Gradingの原則	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要さないもの。ただし、制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含まない(これらが必要と判断されたり行われたりしてもGrade IIとする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放はGrade IIとする。	制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬以外の薬物療法を要する。輸血および中心静脈栄養を要する場合を含む。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔下での治療)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、単一の臓器不全(透析を含む)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、多臓器不全。	患者の死亡	退院時にも合併症が持続していた場合、接尾辞"d"("disability")を該当する合併症のGrade Iに付加する(II-d, IIIa-dなど)。想定される退院時の状況を「例」として示した。							
AE term	CTCAE		1	2	3	4	5											
			Gradingの原則	軽症; 症状がない、または軽度の症状がある; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	中等症; 最小限/局所的/非侵襲的治療を要する; 年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない; 入院または入院期間の延長を要する; 活動不能/動作不能; 身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす; 緊急処置を要する									死亡		
生殖器/ 乳房	勃起障害	Clavien	勃起障害	勃起障害はあるが、陰圧式勃起補助具以外の治療を要さない	PDE5阻害薬などの内科的治療を要する(血管作動薬の陰茎海绵体注入など)	局所または腰椎麻酔下での治療を要する	全身麻酔下での治療を要する(陰茎へのプロステーシス永久挿入など)									—	勃起障害の持続	
		CTCAE	勃起不全	勃起機能の低下(頻度/硬度)、ただし治療を要さない(例:薬物治療/機器、陰茎ポンプの使用)	勃起機能の低下(頻度/硬度)、勃起補助治療を要する(例:薬物治療/陰茎ポンプなどの機器)	勃起機能の低下(頻度/硬度)、ただし勃起補助治療が有効でない(例:薬物治療/陰茎ポンプなどの機器); 陰茎プロステーシスの永久留置を要する(以前は不要)									—	—		
生殖器/ 乳房	頸管閉鎖(子宮閉鎖)	Clavien	頸管閉鎖(子宮閉鎖)	臨床所見または内診所見のみで治療を要さない	月経困難症を呈し、鎮痛薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下もしくは無麻酔での頸管プジーを要する	全身麻酔下での治療を要する(子宮頸管拡張術)									—	子宮口の閉鎖が持続	
		CTCAE	子宮閉塞	検査所見のみ; 治療を要さない	軽度の症状がある; 待機的処置を要する	高度の症状がある; 待機的処置を要する									—	—		
生殖器/ 乳房	陰瘻	Clavien	陰瘻	臨床所見または内診所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	—	全身麻酔下での治療を要する(陰瘻閉鎖術や人工肛門造設)	人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	陰瘻からの糞尿排泄の持続							
		CTCAE	陰瘻	症状がない; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	症状があるが治療を要さない	高度の症状がある; 待機的処置を要する					生命を脅かす; 緊急処置を要する	死亡						
精神	卵巣欠落症候群	Clavien	卵巣欠落症候群	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	ホルモン補充療法などの内科的治療を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	死亡	ホルモン補充療法の継続を要するほてり; 精神科通院継続を要するうつ症状
		CTCAE	無オルガズム症	オルガズムがない、ただしパートナーとの関係には影響がない	オルガズムがなくパートナーとの関係に悪影響	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
血管	頸部乳び漏	Clavien	頸部乳び漏	ドレーン排液や穿刺液の乳び所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	脂肪制限食または経静脈的栄養管理を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する; 既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—	死亡	頸部圧迫感の持続
		CTCAE	リンパ漏	—	症状がある; 内科的治療を要する	高度の症状がある; IVRIによる処置/内視鏡的処置/待機的処置を要する									生命を脅かす; 緊急の外科的処置を要する	死亡		
血管	漿液漏	Clavien	漿液漏	臨床所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	抗菌薬などの内科的治療を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する; 既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する	人工呼吸管理を要する肺障害; CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	敗血症; 複数の臓器不全	死亡	創部からの浸出液が漏出; 時に発熱や感染; ドレナージチューブ留置のまま退院など							
		CTCAE	リンパ漏	—	症状がある; 内科的治療を要する	高度の症状がある; IVRIによる処置/内視鏡的処置/待機的処置を要する					生命を脅かす; 緊急処置を要する	死亡						
血管	乳び腹水	Clavien	乳び腹水	ドレーン排液や腹水穿刺液の乳び所見のみで治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)	脂肪制限食または経静脈的栄養管理を要する	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する; 既存のドレーン入れ替えも含む	全身麻酔下での治療を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—	死亡	腹満感の持続
		CTCAE	リンパ漏	—	症状がある; 内科的治療を要する	高度の症状がある; IVRIによる処置/内視鏡的処置/待機的処置を要する									生命を脅かす; 緊急の外科的処置を要する	死亡		
血管	皮下静脈炎(Mondor氏病)	Clavien	皮下静脈炎(Mondor氏病)	臨床所見または検査所見のみで、NSAIDs以外の治療を要さない	オピオイドの投与もしくは疼痛管理専門医による投薬を要する	局所麻酔下での治療を要する	全身麻酔下での治療を要する	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	手術部位周辺に生じる皮下静脈炎、索状物として触れる
		CTCAE	静脈炎	—	あり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 — CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	I		II		IIIa		IIIb		IVa		IVb		V		後遺症"d"の補足説明(例)
			Gradingの原則	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要さないもの。ただし、制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含まない(これらが必要と判断されたり行われたりしてもGrade Iとする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放はGrade Iとする。	制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬以外の薬物療法を要する。輸血および中心静脈栄養を要する場合を含む。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔下での治療)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、単一の臓器不全(透析を含む)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、多臓器不全。	患者の死亡	退院時にも合併症が持続していた場合、接尾辞"d"("disability")を該当する合併症のGradeに付加する(II-d, IIIa-dなど)。想定される退院時の状況を「例」として示した。						
AE term	CTCAE	1	2	3	4	5											
			Gradingの原則	軽症:症状がない、または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限					生命を脅かす;緊急処置を要する				死亡		
血管	血栓症、塞栓症	Clavien	血栓症、塞栓症	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗凝固薬などの内科的治療を要する	カテーテルによる血栓除去やIVCフィルタなどの侵襲的治療を要する	全身麻酔下での治療を要する(肺動脈血栓摘除術)		肺・脳・心臓などの重要臓器における血栓による臓器不全		肺・脳・心臓などの複数臓器における血栓による臓器不全		死亡		肺梗塞後の呼吸困難;脳梗塞後の麻痺など		
		CTCAE	血栓塞栓症	静脈血栓症(例:表在性血栓症)	静脈血栓症(例:合併症のない深部静脈血栓症);内科的治療を要する	血栓症(例:合併症のない肺塞栓症(静脈)、心内塞栓(動脈)のない血栓症);内科的治療を要する			生命を脅かす(例:肺塞栓症、脳血管イベント、動脈系循環不全);循環動態が不安定または神経学的に不安定;緊急処置を要する				死亡				
筋/結合組織	肩関節可動域制限	Clavien	肩関節可動域制限	臨床所見のみでNSAIDs以外の治療を要さない	オピオイドの投与もしくは疼痛管理専門医による投薬を要する;リハビリテーションを要する	神経ブロックなどの外科的治療を要する	全身麻酔下での治療を要する		-		-		-		-		肩関節の可動範囲の制限が持続
		CTCAE	関節可動域減少	関節可動域(ROM)の $\leq 25\%$ 減少;スポーツ(athletic)に制限あり	関節可動域(ROM)の $> 25-50\%$ 減少;身の回り以外の日常生活動作の制限	関節可動域(ROM)の $> 50\%$ 減少;身の回りの日常生活動作が制限される;活動不能/動作不能											
筋/結合組織	脂肪壊死	Clavien	脂肪壊死	臨床所見または検査所見のみで、ベッドサイドでの創開放や創洗浄以外の治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(切開ドレナージなど)	全身麻酔下での治療を要する		人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全		敗血症;複数の臓器不全		死亡		創部の脂肪壊死、時に癒痕形成、発熱や感染など		
		CTCAE	筋骨格系および結合組織障害、その他(脂肪壊死)	症状がない、または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限			生命を脅かす;緊急の処置を要する				死亡				
筋/結合組織	皮膚壊死(皮弁壊死)	Clavien	皮膚壊死(皮弁壊死)	臨床所見または検査所見のみで治療を要さない	抗菌薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(デブリドメント、植皮術など)	全身麻酔下での治療を要する(植皮術)		人工呼吸管理を要する肺障害;CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全		敗血症;複数の臓器不全		死亡		上皮化が不十分;感染が持続など		
		CTCAE	筋骨格系および結合組織障害、その他(皮膚壊死)	症状がない、または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限			生命を脅かす;緊急の処置を要する				死亡				
皮膚/皮下組織	皮下気腫	Clavien	皮下気腫	臨床所見または検査所見のみで、ベッドサイドでの皮下穿刺や胸帯などでの圧迫以外の治療を要さない	-	全身麻酔を要さないIVRIによる治療/外科的治療を要する(皮下ドレーン挿入など)	全身麻酔下での治療を要する		-		-		-		-		皮下組織に空気がたまった状態で退院
		CTCAE	皮膚および皮下組織障害、その他(皮下気腫)	症状がない、または軽度の症状がある;臨床所見または検査所見のみ;治療を要さない	中等症;最小限/局所的/非侵襲的治療を要する;年齢相応の身の回りの日常生活動作の制限	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない;入院または入院期間の延長を要する;活動不能/動作不能;身の回りの日常生活動作の制限			生命を脅かす;緊急の処置を要する				死亡				
全身/局所症状	上肢浮腫	Clavien	上肢浮腫	リンパマッサージや弾性ストッキングの着用以外の治療を要さない	利尿薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(リンパ管吻合術)	全身麻酔下での治療を要する(リンパ管吻合術)		-		-		-		-		弾性ストッキングの継続的着用
		CTCAE	四肢浮腫	四肢間の差が最も大きく見える部分で、体積または周長の差が5-10%;腫脹または四肢の解剖学的構造が不明瞭になっていることが注意深い診察でわかる	四肢間の差が最も大きく見える部分で、体積または周長の差が $> 10-30\%$ ;腫脹または四肢の解剖学的構造が不明瞭になっていることが診察で容易にわかる;皮膚のしわの消失;解剖学的な輪郭の異常が容易にわかる;身の回り以外の日常生活動作の制限	体積の差が $> 30\%$ ;リンパ漏;解剖学的な輪郭の異常が著明である;身の回りの日常生活動作の制限											

JCOG術後合併症規準(Clavien-Dindo分類) v2.0 – CTCAE v4.0 対比表  
(2013年4月11日承認)

		Clavien	I		II		IIIa		IIIb		IVa		IVb		V		後遺症“d”の補足説明(例)
			Gradingの原則	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要さないもの。ただし、制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含まない(これらが必要と判断されたり行われたりしていてもGrade Iとする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放はGrade Iとする。	制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬以外の薬物療法を要する。輸血および中心静脈栄養を要する場合を含む。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔下での治療)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、単一の臓器不全(透析を含む)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、多臓器不全。	患者の死亡	退院時にも合併症が持続していた場合、接尾辞“d”(“disability”)を該当する合併症のGrade Iに付加する(II-d, IIIa-dなど)。想定される退院時の状況を「例」として示した。						
AE term	CTCAE		1	2	3	4	5										
全身/局所症状	下肢リンパ浮腫(四肢浮腫、リンパ浮腫、限局性浮腫)	Clavien	下肢リンパ浮腫(四肢浮腫、リンパ浮腫、限局性浮腫)	リンパマッサージや弾性ストッキングの着用以外の治療を要さない	利尿薬などの内科的治療を要する	局所麻酔下での治療を要する(リンパ管吻合術)	全身麻酔下での治療を要する(リンパ管吻合術)									弾性ストッキングの継続的着用	
		CTCAE	四肢浮腫	四肢間の差が最も大きく見える部分で、体積または周長の差が5-10%；腫脹または四肢の解剖学的構造が不明瞭になっていることが注意深い診察でわかる	四肢間の差が最も大きく見える部分で、体積または周長の差が>10-30%；腫脹または四肢の解剖学的構造が不明瞭になっていることが診察で容易にわかる；皮膚のしわの消失；解剖学的な輪郭の異常が容易にわかる；身の回り以外の日常生活動作の制限	体積の差が>30%；リンパ漏；解剖学的な輪郭の異常が著明である；身の回りの日常生活動作の制限											
全身/局所症状	閉鎖・大腿神経障害(歩行障害)	Clavien	閉鎖・大腿神経障害(歩行障害)	歩行補助具の使用やリハビリテーション以外の治療を要さない	ビタミン薬などの内科的治療を要する			全身麻酔下での治療を要する(神経縫合など)								下肢内転制限の持続	
		CTCAE	歩行障害	軽度の歩行の変化(例：両脚を広く開く、跛行、脚を引きずる)	中等度の歩行の変化(例：両脚を広く開く、跛行、脚を引きずる)；補助器具を要する；身の回り以外の日常生活動作の制限	活動不能/動作不能；身の回りの日常生活動作の制限											
全身/局所症状	創部疼痛	Clavien	創部疼痛	臨床所見のみでNSAIDs以外の治療を要さない	オピオイドの投与もしくは疼痛管理専門医による投薬/治療を要する	神経ブロックなどの外科的治療を要する										在宅での疼痛管理	
		CTCAE	疼痛	軽度の疼痛	中等度の疼痛；身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の疼痛；身の回りの日常生活動作の制限											
	その他(該当するAE termがない場合)	Clavien	その他(該当するAE termがない場合)	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要さないもの。ただし、制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含まない(これらが必要と判断されたり行われたりしていてもGrade Iとする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放はGrade Iとする。	制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬以外の薬物療法を要する。輸血および中心静脈栄養を要する場合を含む。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVRIによる治療を要する(全身麻酔下での治療)。	準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、単一の臓器不全(透析を含む)。		準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、多臓器不全。		死亡					